



調査票 D 超音波検診で発見したがん患者の個票

注意) 本票は他施設より情報回収する際の書式です。実際のデータ提出には使用できません。
データ提出は本学会ホームページの「全国集計 Web システム」よりお願いいたします。
・個票の取り扱いには、十分ご注意ください。

※ (1) 初回とは、初めての受診、または、直近の受診が3年以上前の場合と定義します。
※ (2) 「肝内胆管がん(胆管細胞がん)」は肝を選択して下さい。
※ (3) 最終診断名で下記 ICD-O 局在コードを選択した場合、以下の形態コードを記入して下さい。
C22.0: 病理診断がなく画像診断のみでも形態コードを記入
C22.0: 肝細胞癌の場合、画像所見のみの診断でも形態コード 8170/3 を記入
C22.1: 胆管細胞癌の場合、画像所見のみの診断でも形態コード 8160/3 を記入

超音波検診実施機関名:

1) 患者 性別 ☐ 男性 ☐ 女性
発見時年齢 歳
※システムへの転記の際は、5歳刻みでの年齢選択になります。

2) 検診 実施年月日 西暦 年 月 日
検診受診歴 ☐ なし(初回受診※) ☐ 1年前受診 ☐ 2年前受診 ☐ 3年前受診 ☐ 不明
※初回受診とは過去3年間に受診歴がない場合のことです。

3) 診断・治療 悪性疾患の認められた臓器 ☐ 肝 ☐ 胆嚢 ☐ 胆道 ☐ 膵 ☐ 腎 ☐ 脾
(原発巣の臓器を選択してください) ☐ その他臓器名 ()
超音波検診カテゴリ ☐ 0 ☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☐ 3' ☐ 4 ☐ 4' ☐ 5 ☐ 5' ☐ 不明
0~5'カテゴリ判定の根拠となった超音波所見(超音波検診カテゴリで0~5'を選択した場合に入力)
()
最終診断名(ICD-O コード) ()
☐ 転移性肝がんである場合はチェックしてください。
ICD-O 局在コード ()
最終診断根拠(必須) ☐ 剖検 ☐ 切除 ☐ 生検(病理、細胞診) ☐ 画像診断(造影 CT、MRI、その他)
病理組織診断名(ICD-O コード) ()
ICD-O 形態コード ()
主な治療法 ☐ 切除手術 ☐ 局所療法 ☐ 経カテーテル治療 ☐ 化学療法 ☐ 放射線療法
☐ その他の治療 ☐ 未治療
切除手術 ※主な治療法で「切除手術」を選択した場合に記入してください。
☐ 原発巣完全切除 ☐ 原発巣不完全切除 ☐ 姑息/対症/転移巣切除 ☐ 不明
ステージ分類(UICC 分類) ※主な治療法で「切除手術」を選択した場合に記入してください。
☐ 0 ☐ I ☐ Ia ☐ Ib ☐ II ☐ IIa ☐ IIb ☐ III ☐ IIIa ☐ IIIb ☐ IIIc
☐ IV ☐ IVa ☐ IVb ☐ 不明 ☐ その他
「その他」の内容 ()
重複癌 ☐ 無 ☐ 有 ☐ 不明
※「有」を選択した場合、診断名、ICD-O 局在コードおよび形態コードを入力してください。2個まで回答可。
診断名① ()
ICD-O 局在コード① ()
ICD-O 形態コード① ()
診断名② ()
ICD-O 局在コード② ()
ICD-O 形態コード② ()